



平成 22 年 5 月 10 日

各 位

東京都港区芝大門一丁目 16 番 3 号
株式会社インフォーマート
代表取締役社長 村上 勝照
(コード番号：2492 東証マザーズ)
問い合わせ先 常務取締役管理本部長
藤田 尚武
電話 (03)5777-1710

株式会社インフォーマート

2010/12 期 第 1 四半期決算ハイライト

－ 「FOODS Info Mart」利用企業数 20,679 社へ拡大し、増収増益 －

			2010/12 期					
			第 1 四半期 (実績)		第 2 四半期累計 (予想)		通期 (予想)	
			金額 (百万円)	前年同期比	金額 (百万円)	前年同期比	金額 (百万円)	前期比
売上高	ASP 商談事業	システム使用料	204	2.8%	461	16.3%	1,078	32.4%
		アウトレット	6	-89.1%	13	-90.0%	26	-90.0%
	合計		210	-19.0%	474	-10.0%	1,104	2.6%
	ASP 受発注事業		439	14.2%	888	11.9%	1,860	11.5%
	ASP 規格書事業		70	79.7%	147	87.8%	320	63.1%
	海外ライセンス事業		0	-	4	-	20	396.4%
	クラウドサービス事業		-	-	17	-	140	-
合計		720	5.3%	1,531	9.4%	3,445	17.0%	
営業利益			183	13.6%	258	-21.3%	800	10.0%
経常利益			184	13.9%	258	-21.3%	800	10.0%
四半期 / 当期純利益			108	14.9%	152	-20.0%	463	14.0%
			社	前期末比		予想	前期末比	
FOODS Info Mart 利用企業数			20,679	+439		21,800	+1,560	
			金額 (円)	前年同期比		予想	前期比	
月額顧客単価 (期平均)			11,732	+497		13,000	+1,338	
					第 2 四半期末 (円)	前年同期比	期末 (円)	前期比
1 株当たり配当金					3,300	+300	3,300	+300

※(注1)「アウトレット」の売上高は、IFRS対応で2010/12期より「純利方式」に変更いたしました。売上総利益には影響はありません。
(注2)2010/12期 第1四半期(実績)の前年同期比は、2009/12期 第1四半期の単独決算実績と比較した参考数値です。

1. 10/12 期 第 1 四半期決算の概要

■全体

- ・当第 1 四半期は、「ASP 商談、受発注、規格書」の既存システムの利用拡大と新システム「ASP 受注・営業システム」の推進に注力。新事業（海外ライセンス事業・クラウドサービス事業）に投資。

■ASP 商談事業

- ・「ASP 受注・営業システム」の食品卸会社の契約数は 200 社に増加（4 月末現在）。27 社が稼働開始（3 月末現在）、第 2 四半期からの本格稼働へ向け各社の準備を進める。
- ・「ASP 商談システム」は、解約数は改善したものの新規数減少により利用企業数が純減。

■ASP 受発注事業

- ・「ASP 受発注システム」は、外食チェーンを中心とした利用拡大が継続。買い手新規稼働 36 社、累計 697 社、買い手店舗数 15,239 店舗、売り手 15,770 社に増加。

■ASP 規格書事業

- ・「ASP 規格書システム」は昨年のリニューアル効果が続き、食の安全・安心のシステムとして利用拡大が継続。買い手新規稼働 11 社、累計 141 社、売り手 3,195 社に増加。

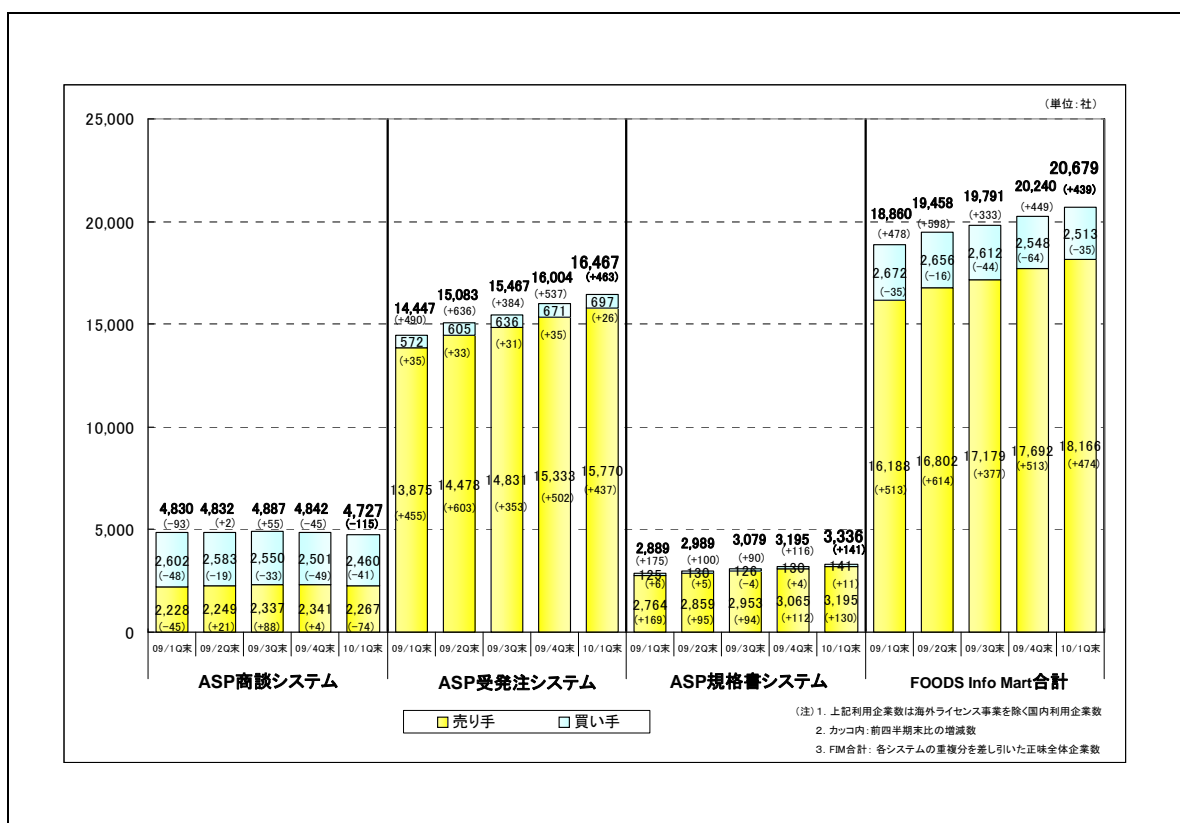
■海外ライセンス事業

- ・中国外食チェーンの「ASP 受発注システム」の契約済み 9 社の新規稼働は、第 2 四半期へ。
- ・海外第 2 弾の市場調査（香港・台湾）を開始。

■クラウドサービス事業

- ・1月20日に(株)日立情報システムズとの合弁会社、(株)インフォライズを設立。
- 6月のサービスインを目指し、メーカー・卸会社に向けて営業を展開。

【FOODS Info Mart 利用企業数の推移】



2. 10/12 期 業績予想について

当第 1 四半期の売上高実績全体は、概ね、2010 年 12 月期業績予想通りに推移しています。

利益面では、第 2 四半期連結累計期間の前年同期比減益予想（ASP受注・営業システム向けの販促費、海外ライセンス事業・クラウドサービス事業への投資経費が先行するため）に対し、当第 1 四半期が前年同期比で増益となったのは、上記経費の一部の発生が、第 2 四半期にずれ込んだことによるものです。

また、通期では、既存システムの利用拡大に「ASP受注・営業システム」の利用拡大が加わり、投資経費を吸収し、前期比で増収増益となる見込みです。

以上から、前回公表（2010 年 2 月 15 日）の業績予想から変更はありません。

以上